



次回のこの欄に登場するのは、あなたかも？
身近なニュース、まちの話題などをお知らせください
☎情報政策課広報係 ☎22-1411 (内線431)



▲「冬のソナタ」ロケ地でも交流を深めました

▲韓国に赴いた6人（左から西田さん、高岡宏治さん、瀬戸涼子さん、寺輪明奈さん、安井亜希さん、寺本かおりさん）

「冬ソナ」の地で、日韓の学生交流をしました

西田真理子さん（地蔵町）

ドラマ「冬のソナタ」のロケ地として日本でも有名になった韓国の春川市ですが、実は彦根市とは市民レベルで30年来の交流があります。この交流を次の世代につなげようと、今年の夏に両市の大学生が互いに訪問しました。

韓国からは、7月10日から1か月間、10人の学生が彦根を訪れました。8月9日には韓国へ帰りましたが、そのときに、私たち市内在住か、市内の大学に通う大学生6人が、いっしょに春川に赴きました。それから16日の帰国まで、午前は春川の江原大学で講義を受け、午後は日本に来ていた春川の学生たちと交流しました。韓国の学生たちは、川でのパイクュー、カラオケ、「冬ソナ」のロケ地めぐり

と、日替わりで普段自分たちが遊んでいるところに案内してくれました。韓国の学生たちは皆がいつも明るく、私たちも元気に巻き込まれて楽しく過ごしました。また、ホームステイ先で経済を学ぶ学生同士で深夜まで議論したり、軍隊に行っている友人と電話で話す姿に日本とは違う側面を感じたりと、参加者それぞれが観光ではできない交流ができたと感じます。

日本の文化も紹介しようと、歓迎会・送別会に私たちが浴衣を着て出席したところ、春川の皆さんはたいへん喜んでくれました。

韓国の学生たちは、日本を先進国・経済大国として強く意識しています。これを機会に、もう一度日本の歴史や文化を振り返りたいと感じました。

「神上沼で、地域の子どもたちが田舟体験をしました」

山田哲三さん（神上沼地区水質保全管理運営協議会）

薩摩町、柳川町、甲崎町、普光寺町に囲まれ、現在では水田が広がるこの地域も、昭和30年代までは、神上沼が大きく広がり、点在する田と集落を結ぶ水路が走っていました。

それぞれの家は田舟を持ち、沼や水路を渡って、農作業へ行ったものでした。また、多くの人が、稲作だけでなく、沼で魚をとって暮らしていました。夏には夕涼みを兼ねて、沼に船を浮かべて家族で食事をするなど、神上沼は地元の人たちの生活と密接なかわりがありました。しかし、昭和30年代からに圃場整備が進み、現在ではそういった光景は見られなくなっていました。

私たち、神上沼地区水質保全管理運営協議会で

は、地元の子どもたちに、地域と神上沼との歴史を知ってもらうために、10月16日に「水生植物の植栽と田船体験」を行いました。この日は約40人の子どもたちが、田舟に乗って沼を回り、地元のお年寄りから、昔の暮らしについて説明を聞いた。投網や、小糸網という小型の定置網を使って魚を取るところを見学したりしました。

また、参加した子どもたちには、花しょうぶとスイレン、コウホネを沼のそばに植えてもらいました。これらの水生植物は、水をきれいにし、やがて美しい花を咲かせることでしょう。これからも地域のの人たちと協力して、神上沼をかつてのような地域の人の憩いの場所にしたいと思います。



山田さん ▶

▼ 神上沼で行われた「水生植物の植栽と田舟体験」

